

狙われています!!

燃えやすいものを家の周囲に置かないでください。
大切な「生命」「財産」「思い出」を失わないために。

瀬谷区において9月中旬から立て続けに5件の放火による火災が発生しています！（令和6年10月15日現在）

裏面を御確認いただき、放火されにくい環境作りに御協力ください。

瀬谷消防署 総務・予防課

放火で大切なものを失わないために

・放火(疑いを含む)による火災は、横浜市内の火災原因で毎年上位になっています。

- ・日が沈む夕方から人々が睡眠する深夜にかけて多く発生するという特徴があります。
- ・放火を防ぐために、家の周りに燃えやすいものを置かない等の「放火されない、放火させない環境づくり」に努めることが大切です。

放火による火災事例

- ・屋外に置かれている漫画本の束に灯油をまかれ、放火された(住宅1棟全焼)。
- ・物置の施錠していなかったサッシ戸から侵入され、積まれていたむしろに放火された(物置1棟全焼)。
- ・倉庫の裏に置いていたタイヤに放火された(倉庫1棟全焼)。



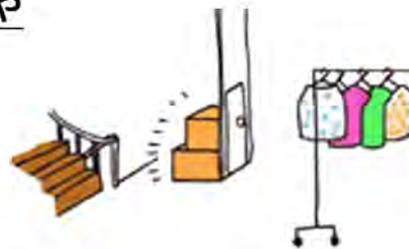
自宅での注意点

- ・家の周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ・ゴミは決められた日時・場所に出すようにしましょう。
- ・物置や車庫には鍵をかけるようにしましょう。
- ・家の周りに常夜灯や人感センサーライトを設置して、放火されない環境をつくりましょう。
- ・車両のボディカバーは「防災製品」を使用しましょう。
- ・共同住宅の廊下や階段に物を置かないよう管理しましょう。



店舗等での注意点

- ・物品販売店などでは、バックヤードや階段などが死角になりがちです。
- ・燃えやすい物などは整理整頓し、不要となった物は処分しましょう。
- ・巡回監視体制をとりましょう。
- ・駐車場所は常に明るくして、他の人が自由に出入りできないようにすると効果的です。



「放火火災の発生状況と対策」

詳しくは

